まちの風景

12/20 パルシー・ハストピア

夜の駐車場が映画館に！

市内で初めてとなるドライブインシアターがパルシー・ハストピアの駐車場で開催されました。「ドライブインシアターIN HASUDA CITY」と名付けられたこのイベントは、新型コロナウイルス感染症の流行により多くのイベントが中止となったことを受け、（一社）蓮田青年会議所が市内商工業者の支援と子ども達の思い出作りを目的として実施。司会を務めた広報大使のたくまんの声に、駐車場に並ぶ車がヘッドライトを点滅させ反応するドライブインシアターならではの光景も見られました。

友人と映画を鑑賞した関龍之介さんは「カーオーディオから聞こえてくる音の振動に驚きました。車で密を避けながらみんなで楽しめました」と笑顔で話してくれました。

（前列左から）関龍之介さん、茶畑晴蘭さん、藤巻美緒さん、中田彩羽さん、桑原はなさん、関夏海さん、（後列左から）中田裕二さん、桑原里彩さん、中田由美子さん、茶畑恵さん

平和の映画会（12月12日・ハストピア）

平和の尊さを学ぶ

令和２年度平和の映画会が開催され、「あの日のオルガン」が上映されました。

戦争の悲惨さを学び、平和のたいせつさを広めるためのこの映画会。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を講じて行われました。映画を鑑賞した金子琉也さんは「もう２度と戦争をしてはいけないと思いました」と真剣な表情で話してくれました。

更なる安全の確保

市民のかたから寄贈された高所からの救助器具、空気式救助マットを使用した訓練が行われました。約４メートルの高さのはしごから飛び降りるなど実践を行い、市民の安全を守るため熱心に訓練に取り組んでいました。

消防本部の新井智次長は「今回いただいたマットで、市民の安全をより守れるようになりました。たいせつに使っていきたいと思います」と話してくれました。

空気式救助マットを使用した訓練（12月７日・消防署）

12/20 市役所

古文書から身近な歴史を学ぶ

蓮田市の歴史や文化を理解し、市内の文化財の保護やまちづくりの推進のために活動してもらうことを目的として開催している、市民ボランティア学芸員養成講座。今回は今年度で４回目の開催となりました。講座内容が古文書解読とあり、参加者は見慣れない古文書を前に何度も読み返しながら、内容を理解しようと熱心に取り組んでいました。

講座に参加していた進藤美千代さんは、「以前から社会や歴史に関心を持っていて、より深く学んでいきたいと思い参加を希望しました。古文書の中に自分の知っている身近な地名が出てきたため、とても驚きました。あらためて歴史を学ぶことのおもしろさを感じています」といきいきと話してくれました。

イルミネーション（12月17日・蓮田駅）

コロナに負けない輝きを

蓮田駅東口と西口でイルミネーションが開催されています。今年度は、西口でも開催されており、東口と西口とで異なった輝きを楽しむことができます。東口のはすぴぃパネルも見どころの一つです。蓮田市商工会イルミネーション実行委員長の岩崎一隆さんは「イルミネーションを見て、新型コロナウイルス感染症で沈む気分を明るくしてもらいたいです」と話してくれました。

安全と健康の両立のために

第１部では、小川孔美さん（埼玉県立大学准教授）による新型コロナウイルス感染症によるフレイル予防についての講話が行われ、第２部では、はすぴぃ元気体操の各地区の代表による活動事例発表とグループワークが行われました。矢島眞喜子さんは「今日学んだことを活かして、安全にはすぴぃ元気体操を行っていきたいです」と笑顔で話してくれました。

はすぴぃ元気体操を安全に開催するための研修会（11月27日・市役所）